

# 三 股 町 教 育 研 究 所

I	研究主題	6-1
II	主題設定の理由	6-1
III	研究仮説	6-2
IV	研究内容と年次計画	6-2
V	全体構想	6-3
VI	本年度の研究内容	
1	「清掃指導」を充実させるための指導資料	6-4
2	「文教みまた」子どもサミット	6-8
VII	成果と課題	6-10
○	参考文献等	6-10
○	研究同人	6-10

## I 研究主題

三股の特性を生かした小中一貫教育の研究  
～ 学校と家庭・地域社会が連携した「あいさつ」「清掃」「郷土学習」の在り方 ～

## II 主題設定の理由

### 1 社会の動向と教育の今日的な課題

日本は戦後、飛躍的な経済復興を遂げ、豊かな生活を築いてきた。私たちはその恩恵にあずかる一方で、見過ごしてきたものや失ったものも多い。その結果、近年、様々な問題が生じている。

たとえば、青少年が関わる特異な事件の増加、急激な経済変動等による生活不安、価値観の多様化がもたらすモラルの低下、戦前の古き良き慣習の喪失などである。これらの問題に関わるものとして、情報の氾濫、家庭や地域の教育機能の低下、社会・自然体験の不足、仮想世界や娯楽志向が生み出す現実世界とのギャップなどが挙げられるであろう。

学校と家庭と地域社会は、力を合わせながらそれぞれの教育機能を発揮して、夢や希望をもってよりよく生きる子どもを育てることが求められている。

### 2 地域の特性と実態

三股町の位置は宮崎県の南西部で、都城市と隣接しており、人や物、文化の交流などが盛んに行われている。近隣の市町村の人口が減少している中で、本町の人口は増加傾向にある。

本町は歴史的にも古い。約140年前に薩摩藩士の三島通庸が町の基礎を築き、教育振興に尽くしたため、「**文教みまた**」と言われている。また、棒踊り、奴踊りなど多くの伝統芸能が残っており、保存会の人々によって子どもたちに伝承されている。

町内には**小学校が6校、中学校が1校**ある。児童は1つの中学校へと進学するため、小中合同の研修会を通して小中一貫教育を進めやすい環境にある。

児童生徒は一般に素直で、いろいろな活動に意欲的に取り組む。しかし、あいさつや清掃など、他の人との関わりや、集団や社会との関わりについての実践力は必ずしも十分育っているとは言えない。いわゆる「中1ギャップ」としての課題もいくつか挙げられる。

学校と家庭との連携に関しては、PTA活動や学級懇談会などで望ましい人間関係づくりや住みよい環境づくりにふれることはあるが、何がどう大切で、学校と家庭がどう連携すれば良いかについて、具体的に話し合うまでにはなかなか至らない。

### 3 研究所が小中一貫教育に取り組むようになった経緯

当研究所は平成17年度から3年間、小中連携を大切にした学力向上の工夫・改善について研究してきた。その成果として、「学力向上を目指す学習指導で大切なこと」を明らかにして学習指導の手引きを作成した。今後の課題として、基本的な行動様式や生活習慣など学習指導以外にも小中連携を広げること、家庭や地域社会との連携を密にすること、小中連携から小中一貫教育に向けた教育活動を究明することなどが挙げられた。

折しも、三股町は、平成19年度より県の「**地域の特性を生かした多様な一貫教育研究事業**」の地域に指定された。これは、前述したように当研究所の研究方向と合致しており、平成20年度から町一貫教育研究組織と連携して小中一貫教育に取り組むことにした。

### 4 三股の特性

三股町には、「**文教みまた**」の歴史と伝統、**小学校6校の児童が中学校1校に入学する教育環境**の2つの特性がある。

5 共通実践項目（「文教みまた」の伝統教育）

この特性を生かして、全小中学校で一貫して実践する共通実践項目を設定した。更に、これを継続するために「文教みまた」の伝統教育と名付けた1～5の理由から、平成20年度から3年間、上記の研究主題を設定して研究することにした。

- 登校・下校時の校門での一礼
- 授業開始時の黙想・座礼
- 児童生徒による「あいさつ運動」
- 清掃のきまりによる無言清掃
- 「みまたの日」の郷土に関する校内放送

共通実践項目（「みまたの日」は3のつく日）

III 研究仮説

「あいさつ」「清掃」「郷土学習」に関する現状と課題を明らかにし、町教育研究組織を通して望ましい指導の在り方を提言すれば、学校は、家庭・地域社会と連携して小中一貫教育にあたることのできるであろう。

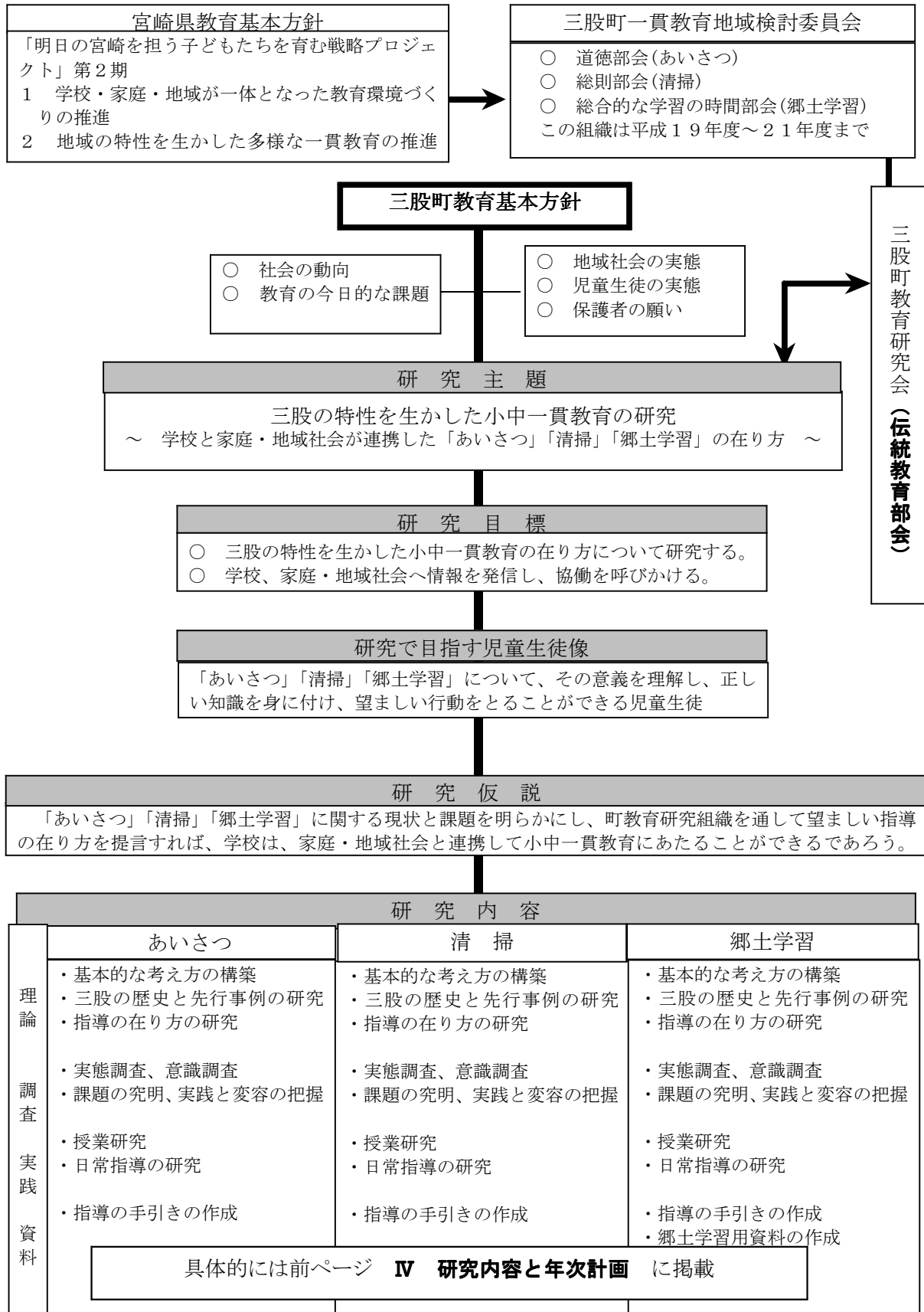
IV 研究内容と年次計画

		平成20年度	平成21年度	平成22年度
あいさつ	理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・学習指導要領との関連</li> <li>・9年間の到達目標設定</li> <li>・歴史・伝統事例の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・先行事例の研究</li> <li>・指導の在り方の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の伝統教育を児童生徒が主体的に継続していくための指導の在り方</li> </ul>
	調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・一貫指導で大切なこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・課題の究明、実践と変容の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> </ul>
	実践		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究（ソーシャルスキル）</li> <li>・日常指導の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」子どもサミット</li> <li>・家庭・地域での指導の在り方</li> </ul>
	資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の教育Q&amp;Aの作成</li> <li>・「文教みまた」の基本的な行動様式の作成</li> <li>・指導用DVDの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の手引きの完成</li> <li>「文教みまた」の教育</li> <li>・家庭や地域に向けた資料作成</li> </ul>
清掃	理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・学習指導要領との関連</li> <li>・9年間の到達目標設定</li> <li>・歴史・伝統事例の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・先行事例の研究</li> <li>・指導の在り方の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の伝統教育を児童生徒が主体的に継続していくための指導の在り方</li> <li>・清掃の基本的なパターン</li> <li>・指導の在り方</li> </ul>
	調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・一貫指導で大切なこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・課題の究明、実践と変容の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> </ul>
	実践		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常指導の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」子どもサミット</li> </ul>
	資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の教育Q&amp;Aの作成</li> <li>・「文教みまた」の基本的な行動様式の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃に関するDVD作成</li> <li>・指導の手引きの完成</li> <li>「文教みまた」の教育</li> </ul>
郷土学習	理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・学習指導要領との関連</li> <li>・9年間の到達目標設定</li> <li>・歴史・伝統事例の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の伝統教育を児童生徒が主体的に継続していくための指導の在り方</li> <li>・三股の歴史や特色の研究</li> </ul>
	調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・一貫指導で大切なこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> <li>・課題の究明、実践と変容の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査、意識調査</li> </ul>
	実践		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時間の三股に関する校内放送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常指導の在り方</li> <li>・「文教みまた」子どもサミット</li> </ul>
	資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教みまた」の教育Q&amp;Aの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の手引きの完成</li> <li>「文教みまた」の教育</li> </ul>

清掃指導資料作成  
「文教みまた」子どもサミットの実践

## V 全体構想

平成21年度までは三股町一貫教育研究組織と連携して研究を進めてきた。平成22年度から伝統教育を定着させるために**三股町伝統教育部会**が設置されたので、そこと連携している。



## VI 本年度の研究内容

本研究も2年が経過して、「校門での一礼」「黙想・座礼」「無言清掃」などの伝統教育が全校で実践されるようになった。一方、新たな課題も出てきた。

第一は、無言清掃を徹底させるためには、清掃道具の使い方や清掃の仕方などの具体的な指導が大切であることである。

第二は、児童生徒が伝統教育を意識して、主体的に先輩から後輩へと伝えてくことが大切である。そのためには、町内全学校の小学1年生から中学3年生まで全児童生徒が交流して、伝統教育が三股町全体で行われていることを実感することが必要である。

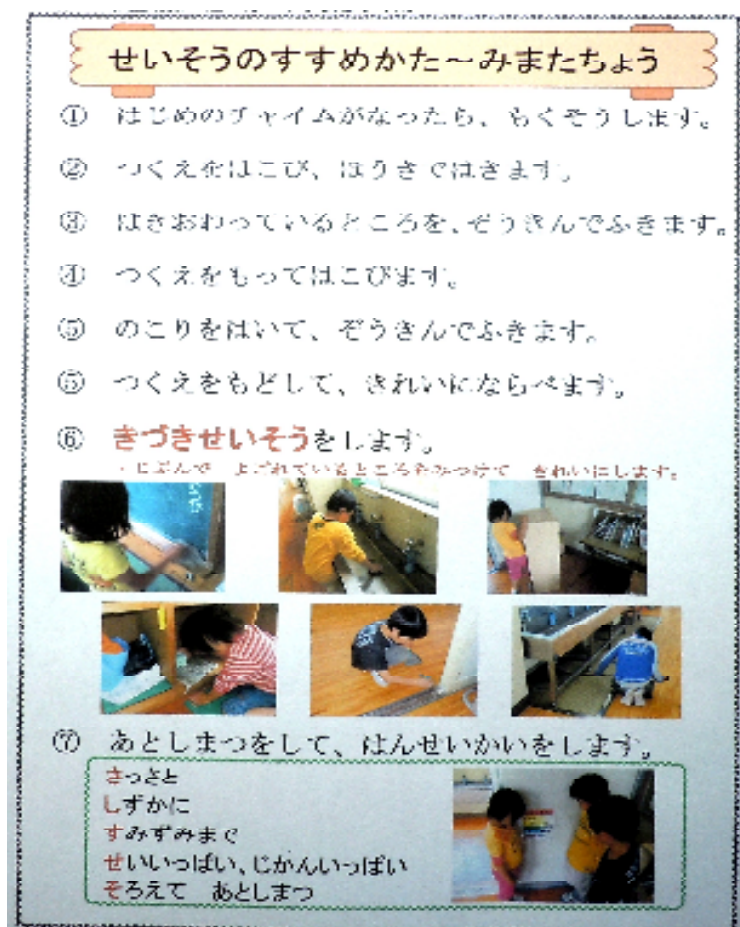
3年目はこれらの課題を解決するために次の研究に取り組むことにした。

- 1 清掃指導を充実させるための指導資料
- 2 児童生徒の意識を高めるための「文教みまた」子どもサミット

### 1 清掃指導を充実させるための指導資料

#### (1) 清掃指導資料の作成

町内のどの学校でも取り組む「教室の清掃」「トイレの清掃」などの進め方や「清掃用具の使い方」などの指導資料を下学年、高学年、中学生別に10通り作成した(資料1～3)。また、児童生徒が主体的に清掃場所を探して取り組む「気づき清掃」を取り入れた。



資料1 教室清掃の手引き (小学校下学年)

## トイレ清そうの進め方～三股町

- 1 始めのチャイムがなったら、もく想をします。
- 2 便器をみがいたり、ふいたりします。
- 3 便器の周りのタイルをみがきます。
- 4 床に水をまいてきれいにします。  
(毎日でなくてもよい。)
- 5 トイレトペーパーや石けんの確認をします。
- 6 気づき清そうをします。



とびら

スリッパ

かべ

- 7 後しまつをして、反省会をします。

㊟ さっさと

㊟ しずかに

㊟ みずみまで

㊟ せいりっぱい時間いっばい

㊟ そろえて後しまつ



# ぞうきん つかかた 雑きんの使い方

## あらかた 洗い方



なか  
バケツの中で  
あら  
もみ洗いをします。



まわ  
ぐるぐる回すだけでは、  
よごれは落ちません。

## かた しぼり方



たて  
縦しぼり



よこ  
横しぼり



おにぎりしぼりは、  
しっかりと

## (2) 清掃指導の展開例

作成した指導資料が、実際の指導に生かされるように、資料を活用した清掃指導の展開例を作成し、資料に添えて各学校に配布した。(資料4・5)

また、各学校で、実態に応じて多様な指導が展開できるように、学級での1単位時間の指導展開例と、学校全体での集会等での指導展開例の2種類のパターンを作成した。

**○ 学級における清掃指導（1単位時間）展開例**

1 清掃の意味について考える。  
 「なぜ、みんなで掃除をするのでしょうか。」  
 ・ 自分たちが使っている場所だから。  
 ・ 掃除をしないととんとんきたなくなるから。  
 ※ 掃を済める活動を通して、周りの人々へ感謝する気持ちをほくむ。

2 清掃の合い言葉「さ」「し」「ず」「せ」「そ」をたしかめる。

「さ」 っさと・・・・・・・・・・・・・・チャイムの合図で黙想し、清掃に取りかかる。  
 「し」 ずかに・・・・・・・・・・・・・・無言で清掃する。  
 「ず」 みずみまで・・・・・・・・・・・・・・決められた場所の隅々まできれいにする。  
 「せ」 いっぱい時間いっぱい・・・・・・・・清掃する場所を自分で探しながら清掃する。  
 「そ」 ろえてあとしまつ・・・・・・・・清掃用具を、きちんと元の場所に戻す。

3 清掃用具の使い方を確かめる。(下学年は「知る。」)  
 (1) そうきんの使い方  
 ※ 児童に、家庭から1枚ずつ新しいそうきんを用意させておく。  
 ○ 指導資料「そうきんの使い方」を示し、次の点を指導する。  
 ・ そうきんを折ったふき方  
 ・ そうきんの洗ひ方  
 ・ そうきんの乾かし方  
 ※ 説明したあと、実際に自分のそうきんを使って体験させる。

資料4 学級における清掃指導（1単位時間）の展開例

**○ 全校（学年）での清掃指導の展開例**

1 本年度の清掃の取り組みについて  
 ○ 町内のすべての小中学校で、「さ」「し」「ず」「せ」「そ」をキーワードにして、清掃の充実に取り組んでいることを知らせる。

2 DVD資料「文数みまたの子どもたち 清掃編」を視聴する。

3 無言清掃の大切さと、本校の基準を知る  
 (1) 無言清掃の大切さ  
 ◇ シャベリながら清掃すると、隅々まで精一杯清掃できない。  
 ◇ 集中して清掃できない。  
 ◇ ほこりなどを吸い込んでしまう。  
 (2) 本校の「無言」の基準  
 ◇ 班長の指示など、清掃の必要なことは、相手にだけ聞こえる声で話す。  
 ◇ 反省会が始まるまでは、一切しゃべらない。

4 どうしたら無言清掃ができるか考える。  
 ○ 清掃時間の自分の担当する役割が分かっていること。  
 ○ 自分を担当する作業の重要性が他校に比べて高いこと。

資料5 全校での清掃指導（1単位時間）の展開例



## 2 「文教みまた」子どもサミット

### (1) ねらい

- ア 「文教みまた」の伝統教育（共通実践項目）を、児童生徒が主体的に自らの伝統として実践していくように意識を高める。
- イ 「三股は一つ」という一体感と郷土愛をもった児童生徒を育成する。
- ウ 情報機器の活用促進を図り、学校間交流を活発にして学習指導等の工夫・改善に役立てる。

### (2) テーマ 「つくろう！三股の新しい伝統を 伝えよう！私たちの手で」

### (3) 概要

三股町内の各小中学校の代表者が一堂に会して、児童生徒により各学校の実態を発表し、それに関して各校の代表者が意見発表を行う。最後に児童生徒全員が「文教みまた」の伝統教育の今後の取組について確認するものとする。

### (4) 日時・会場・参加者

ア 日時 平成 22 年 11 月 24 日（水）14 時～15 時

イ 会場・参加者

(ア) メイン会場：三股中学校体育館

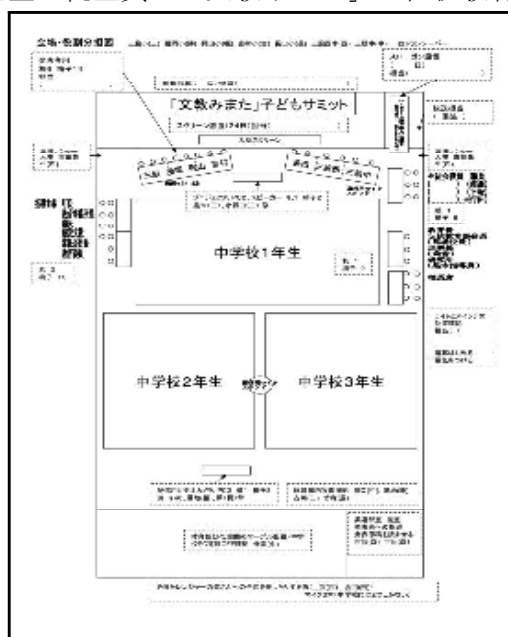
参加者：三股中 1～3 年の全生徒  
各小学校（6 校）の代表児童  
地域の代表（町長、教育委員  
P T A 役員等）

(イ) インターネット配信会場：小学校 6 校

小規模校は 1 校に 1 会場設定

大規模校は 1 校に 3 会場設定

参加者：小学校 6 校の全児童及び全職員



<メイン会場図>

### (5) 方法

サミットによる話し合いはメイン会場で行い、その様子を各小学校に映像と音声を配信し、サミットの途中で各小学校からの意見も反映できるように意見交換の場を設けた。場所は、それぞれ異なるが、同じ時間に同じテーマ「文教みまた」の伝統教育について考えることで時間の共有による児童生徒の意識を高めるようにした。

### (6) 実施までの手順

- ア 教育研究所で実施要綱案の作成
- イ 校長会、町教育研究会運営委員会、伝統教育部会、情報教育部会で検討
- ウ 三股町教育研究会夏季研修会（8 月 2 日）で提案、アンケートによる意見聴取
- エ 各部会、アンケートを参考に実施要綱の検討
- オ 配信設備の調査・点検・配信テスト（1 回目のリハーサル）
- カ 推進組織と役割分担の確認
- キ 発表映像と発表原稿の作成
- ク 児童会・生徒会役員、発表者への指導
- ケ 最終リハーサル 11 月 17 日（水）13：30～16：30
- コ 最終リハーサルを受けての当日プログラムの検討

**(7) サミット当日**

ア 11月24日(水)に「文教みまた」子どもサミットを開催した。三股中学校を主会場とし、体育館に各小学校の代表者が集まり、話し合いの様子は各小学校へインターネット配信された。各小学校会場で児童が話し合いを行い、出た意見や感想を掲示板に書き込んだ。

イ サミットの内容と流れ

**【会の流れ】**

13:55	・入場完了
14:00	・開会の言葉 ・みまたレンジャー登場 ・生徒会長による趣旨説明 ・サミットテーマの朗読 ・発表者の紹介
14:11	・三股小学校の発表
14:14	・勝岡小学校の発表
14:17	・梶山小学校の発表
14:20	・宮村小学校の発表
14:23	・長田小学校の発表
14:26	・三股西小学校の発表
14:29	・三股中学校の発表
14:35	・会場での感想・意見の発表
14:40	・各小学校会場からの感想 意見の発表 ・話し合い ・まとめ
14:45	・講評(伝統教育部会会長)
14:50	・閉会の言葉



力強い生徒会長のあいさつ



盛り上げた「みまたレンジャー」



活発な意見



厳粛な中学生の礼



学校の実態を発表する児童

※ 参加総数は約2600人

※ 「みまたレンジャー」は町商工会青年部

**(8) サミット終了後**

サミット終了後、振り返りをさせて児童生徒の実践の意欲付けを図った。

ア 児童生徒の感想や意見

<p><b>【下学年】</b></p> <p>○ 三股中学校のお掃除がすみずみまでできてすごく、床もきれいで私たちも中学校のお姉さんたちみたいになりたい。</p> <p>○ ずっと、三股に住んでいたい。</p> <p><b>【上学年】</b></p> <p>○ 子どもサミットは今までのあいさつと清掃を振り返る行事なのでとてもよいと思った。</p> <p>○ 新しい三股町の文化を私たちの手で伝えられるように一人一人が意識を高めていきたい。</p>
--

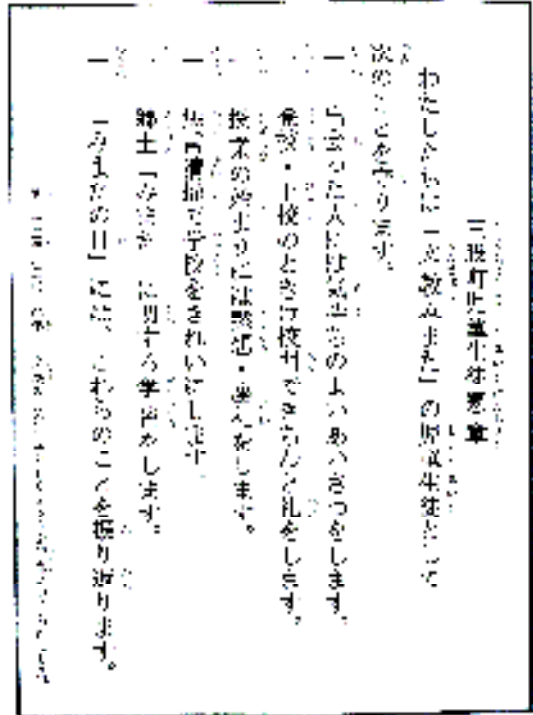
【中学校】

- 三股のみんなが同じことに取り組むと、大きな力になるなど実感しました。宮崎県で一番大きな学校だからこそ、一人一人が団結すると、とてつもないパワーがうまれる。
- 「三股の子どもたちみんなで」というのが、よい企画だと思った。また、新しい歴史を作るといのがすごいと思う。生徒会長が言ったように、10年後、20年後続くようにスタートの私たちががんばりたい。

イ 三股町児童生徒憲章の制定

児童生徒はサミットを通して意識を変えつつある。サミットをきっかけに話し合ったことが生きるように生徒会を中心に三股町児童生徒憲章が制定された。これを「みまたの日」にどの学校でも朗読するように3学期から取り組み始めた。

また、各家庭にもこの三股町児童生徒憲章を配付して啓発を図った。さらに、地域にも「広報みまた」で広報される。



VII 成果と課題

(1) 成果

ア 清掃指導資料を作成・配布したことによって、小中一貫した指導ができるようになった。

イ 清掃指導の展開例を作成・配布したことによって、各学校の実態に応じて具体的に指導ができるようになり、児童生徒に望ましい清掃態度を身に付けさせることができた。

ウ サミットを通して、他校のあいさつや清掃の取り組みを知ることで、自分たちの姿を振り返ることができ、今後の実践意欲を高めることができた。

エ 三股町児童生徒憲章を活用した伝統教育の実践がすべての学校において動き始めた。

(2) 課題

ア 「文教みまた」の伝統教育が継続されて学校及び児童生徒に定着していくこと。

イ いろいろな機会を通して家庭や地域と連携した取組を推進していくこと。

○ 参考文献等

実践！ソーシャルスキル教育(小学校)	佐藤正二・相川充 編	図書文化
実践！ソーシャルスキル教育(中学校)	佐藤正二・相川充 編	図書文化
三股町史 改訂版	三股町史編集委員会 編	三股町
永平寺中学校の伝統教育	NHK総合テレビ「鶴瓶の家族に乾杯」より	

○ 研究同人

所 長	田中 久光 (教育長)	次 長	野元 祥一 (教育課長)
事 務	出水 真弓 (学校教育係)	指導員	黒木 敏行 (研究指導員)
研究員	黒木 賢一 (三股町立三股小学校)	研究員	古川 ゆか (三股町立三股小学校)
研究員	湯地 豊和 (三股町立勝岡小学校)	研究員	原 圭史 (三股町立梶山小学校)
研究員	丸山 広 (三股町立宮村小学校)	研究員	石崎 文代 (三股町立長田小学校)
研究員	古賀 正洋 (三股町立三股西小学校)	研究員	行田真由美 (三股町立三股西小学校)
研究員	渡邊 友恵 (三股町立三股中学校)	研究員	田口 道士 (三股町立三股中学校)